

# 新基地建設反対名護共同センターニュース

## 県民投票の成功めざし「連絡会」が発足



高良鉄美共同代表



照屋義実共同代表

「辺野古」埋め立ての賛否を問う県民投票を成功させるため「辺野古埋め立て・新基地建設反対の民意を示す県民投票連絡会」の結成総会が9日、那覇市内で開かれ56団体250人が参加しました。総会では「辺野古新基地は絶対に造らせない。日米両政府に翻弄されることなく、沖縄のことは沖縄が決める。沖縄の未来を切り開く歴史的な闘いに勇躍して立ち上がろう」とのアピールが採択されました。共同代表には稲嶺進前名護市長、呉屋守将金秀グループ会長、高良鉄美琉球大学大学院教授、照屋義実照正組会長の4氏を選出。ほかに女性2人の就任を予定しています。共同代表4人を代表して照屋氏が「選挙で何度も辺野古新基地反対の民意が示されているのに安倍政権が聞かない以上、こちらも何回でも民意を示していかなければならない」と、県民投票と連絡会への協力と結集を呼びかけました。

県民投票でも圧倒的民意を示し、  
辺野古新基地建設を必ず阻止しよう！

### 土砂搬入を許さない 12・14 辺野古海上大行動

政府・防衛省は14日に土砂投入を強行する構えです。違法・無法な土砂投入に抗議する海上大行動を展開します。

- 12月14日(金) 午前7時～  
集合・辺野古テント2 (辺野古漁港裏)
- 留意点
  - ★カヌー・抗議船での参加は事前申し込みを。
  - ★メールで [henokoblue@outlook.jp](mailto:henokoblue@outlook.jp)
  - ★連帯メッセージや問い合わせもメールで。
  - ★イメージカラー「青・ブルー」を身に着けて。
- 主催・ヘリ基地反対協

### 日本科学者会議「活断層、3月に調査」

沖縄で第22回総合学術研究会を開催した日本科学者会議は9日、立石雅昭新潟大名誉教授が「大浦湾の活断層問題で「来年3月に辺野古活断層と楚久活断層の地形的および地質学的調査に着手する」と発表しました。

これに先立ち7日、立石教授ら地質学の専門家が、大浦湾を訪れ、活断層の調査を行いました。場所は瀬嵩の海岸と二見集落の砂防ダム地域。立石教授は来年三月、仲間との研究者とともに大浦湾の活断層の本格的調査を行う予定で、この日はその事前調査。調査には、建築家の真喜志好一氏、土木技師の奥間政則氏らが同行しました。(写真真は、調査の打ち合わせの様子)



### 島根

## 「沖縄人はあきらめない心を非暴力で貫く」 稲嶺進・前名護市長の講演会に180人

「沖縄と連帯する島根の会」(高野孝治代表世話人)は8日、稲嶺進・前名護市長を招き松江市内で講演会を開催、会場満席の180人が参加しました。稲嶺さんは「沖縄の歴史を理解してほしい」と資料の年表を示しながら、米軍に基地の用地を提供するための特措法の存在や米軍人による事件、事故がたび重なったことなどを説明して「沖縄では民主主義が否定されてきた」と報告。そして「(9月の)知事選でも、選挙結果を見向きもせず、辺野古新基地建設の工事を強行しようとしている」と安倍政権を批判しました。「ウチナーンチュ(沖縄人)はあきらめない心を非暴力で貫いてきた。島根と沖縄は離れていても心は通い合う」と連帯を呼びかけました。「島根の会」の中林佳子さんは「講演会はおかげさまで大成功でした。引き続き沖縄との連帯を広げます。参院選挙では島根からも市民と野党の共同実現で安倍政権打倒をめざし運動を展開させます」と話していました。(通信・中林隆氏)

